

“みんな学校で育った”

子どもの心に寄り添うボランティアに応募してみませんか

新座市ピア・サポーター

新座市では、学校、保護者、地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長を目指しています。その一貫として新座市が学園都市であることの利点を最大限に生かし、大学と連携した教育の展開を図っています。とりわけ不登校児童生徒や集団不適応児童生徒への支援として、臨床心理系学部等の大学生・大学院生を派遣する「ピア・サポーター制度」では、多くの学生が小・中学校で活躍し大きな成果を挙げています。

みなさんも、ぜひ応募してみませんか。

1 ねらい

身近なお兄さん・お姉さんの存在のピアサポーターとして学校・家庭等で活動し、児童生徒の心のケアと学力の定着や人間関係づくりのスキルを身につけさせることを目指す。

<注> ピアとは仲間・同士という意味。ピアサポートとは仲間同士の助け合いのこと。

2 活動内容

教室や相談室において、学習支援や話し相手及び遊び相手となるなどして心に寄り添う。

<注> 活動する曜日、時間等については相談して決定します。

3 応募方法

- ・跡見学園女子大学・十文字学園女子大学・立教大学・日本社会事業大学に在学する学生の方は、担当の事務局また教授に応募の意思をお伝えください。
- ・その他の大学に在学する学生の方は、下記の教育委員会事務局に連絡ください。

新座市教育委員会教育相談センター 048-477-7204

新座市教育相談室 048-477-4152

A美さんの活動

小学校2年生のクラスに、毎週木曜日給食時間をはさんで、おおむね2～4時間活動しています。クラスで、照れ屋でおとなしいB君に寄り添い、いっしょに学習したり、給食を食べたり、遊んだりと楽しく過ごしていたところ、B君は、みるみる活動的になりクラスの友だちとも仲良く遊ぶ様子が見られるようになりました。

A美さんは、ピア・サポーターの活動についての思いを「子どもたちは、みんなとのふれあいを求めています。でも、中にはそのすべを知らない子もいます。わたしたちピア・サポーターが寄り添い、そっとやさしく背中を押してやることで変わることがわかりました。この経験は、私自身のこれからの人との関わりに、大きな自信にもなりました。」と、語ってくれています。

新座市教育委員会